

火の川



第322号

【編集発行】熊日宮原販売センター

八代郡氷川町柵16-3

TEL 0965-62-3868 Fax62-2867

E-mail kuma-miya@rainbow.plala.or.jp

60男の悩み!!一人暮らしの家、どうする?

~土地の未登記、狭小道路、後継ぎ無し~

高校の同級生である碓ゴンドウと冬月コウゾウ。今年還暦を迎え、互いに両親は他界して自宅に一人暮らし。碓の妻の死去に伴い、彼の生命保険の受取人を長男に変更するために冬月が碓宅を訪問し、話は家のことに発展!

【碓】忙しいのに悪いね。おまえから言われなきゃ、気づかなかったよ。

【冬月】いやいや、早く手続きをしておかないと、お互い車でウロウロする身だから気になっていたんだ。

—書類作成完了—

【冬月】そうそう、マヤのことを言ったっけ?先日、福岡市の彼氏が来て、夏頃に婚約することになったよ。ミサトは、ブツブツ言ってるけど(笑)

【碓】いや聞いてないけど、それはおめでどう!でも、離婚したミサトさん、寂しくなるね。

【冬月】いやいや、離婚はしてないって!6年前に母が亡くなって、熊本市内から八代の実家に住むと決めた時、「マヤと一緒に住む!」と言ったから別居したんだ。まあ、ワガママでビール好きなんだけど、俺も干渉しない関係がいいかな?と(苦笑)

【碓】そうだったのか。でも、マヤちゃんが結婚したら一人暮らしになるから、家賃も大変になるね。

【冬月】八代に来るなら俺はそれでもいいけど、まだどうするか分かんない。カヲルは半年前に家を建てたのに、7月から3年間アメリカ行きになってね。こっちは、嫁が一人娘でご両親も名古屋なの、せめてもの救いかな。

◆不動産屋に依頼してる!

【碓】ふへん。でも、俺も一人暮らしになって、自宅のことを考えるようになった。

住宅・土地に関する無料相談会

不動産に関するお悩みに、司法書士・土地家屋調査士がお答えします!たとえば...

- ・土地が他人名義になっているが、自分の名義にする方法はないか?
- ・相続でもめると困るので、生前に子どもに不動産を贈与したい!
- ・相続登記が義務化されると聞いたが、その具体的な内容が知りたい!
- ・敷地に通じる道が狭くて、家を建てられない!
- ・建物を取り壊した後の手続きが分からない!

■対談者の家族構成

【碓ファミリー】

- ・ゴンドウ:八代市、運送業
- ・リツコ(妻):3ヶ月前に死別
- ・アスカ(長女):千葉市、既婚、専業主婦
- ・シンジ(長男):熊本市、既婚、公務員
- ・レイ(次女):神戸市、既婚、自営業

【冬月ファミリー】

- ・コウゾウ:八代市、熊本市で保険業
- ・ミサト(妻):福岡市でマヤ(長女)と同居、医療機関勤務
- ・カヲル(長男):名古屋市、既婚、自動車メーカー勤務
- ・マヤ(長女):福岡市でミサト(母)と同居、婚約間近、製菓メーカー勤務



たわ。子どもたちはみんな家を建てたし、シンジも定年まで30年くらいあるし。お前が死んだら、家はどうなるんだ?

【冬月】俺は不動産屋の知り合いがいて、もし死んだら処分してくれと頼んでる。ただ俺の家は道が狭くて軽しか入れないから、条件が良くないんだ。その点、ここは良いよな。

【碓】いやいや、実はこの土地は60年前に亡くなった爺さんと数人の名義で、親父も動いたけど結局、名義変更が出来なかったんだ。だから売ることもできないし、困ったもんだよ。

【冬月】それはきついな。でも、最近、法律が変わったとか聞いたなような。無料相談会(左記参照)とかもあるし、専門家に相談したらどうだ?

◆家族会議で課題を共有!

【碓】そうだな、少しは勉強しないとね。あと、この前ズームで子どもたちと家をどうするか?軽く話し合ったんだ。全員がそうすることは、滅多にないからね。



古民家で映画はいかが?
のさりの島上映チケット販売中

◆特定空き家指定で、税金が6倍?

次のように管理が不十分な状態にある空き家は、「特定空き家」として認定される場合がある。

- 1.倒壊など著しく保安上危険となるおそれがある
- 2.アスベストが飛散したりごみによって臭気が発生したりするなど、著しく衛生上有害となるおそれがある
- 3.適切な管理がされていないことで著しく景観を損なっている
- 4.木の枝が隣家に超えたり、空き家に棲みついた動物のふん尿などが原因で周辺的生活環境を乱したりしている

自治体が空き家の調査を行い、特定空き家に認定されると、住宅用地の特例が適用されず、固定資産税が約6倍になる恐れがある。

◆おもな空き家対策

- ・空き家について自治体に相談する
- ・空き家バンクに登録する
- ・空き家をリフォームする
- ・空き家の保守や片付けをして管理をする
- ・空き家の管理や活用のサービスを利用する
- ・空き家を解体して活用する



放置された空き家はこんな心配が...



【冬月】へえ、お前にしてはやるじゃないか(笑)それで、みんな何て言った?

【碓】まずシンジに「お前は思う?」って聞いたら、「わからない」って。そしたらアスカが「わからないって、あんたバカ?長男が何とかするもんでしょ!」って(笑)レイは「家は解体しても、問題ない」と、さらっと言ったよ。

【冬月】(笑)アスカちゃん、手厳しいな。【碓】相変わらずだよ。まあ解体すると300~400万円くらいかかるし、全員が1年かけて空き家の勉強をしよう!ということになったよ。あと、家にはリツコの遺品や子どもたちの机とかガラタとかたくさんあるから、少しずつ整理して、2年後にはすっきりさせようと思ってるんだ。(了)

明治後期建築の田中邸(氷川町今)が昨年12月に改修されたことに伴い、天草を舞台にした話題の映画「のさりの島」の上映会が開催されます。

日時:6月24日(土)14:00~16:10

場所:田中邸(氷川町今、国道3号さくら歩道橋西側、氷川町公民館南側)

費用:1人1,000円、事前申込み、先着30人で締め切り

問合せ先:田中榮利子(090-3286-3472)

岩本剛(090-3197-7908)

「のさり」とは、いいこともそうでないことも、自分の今ある全ての境遇は、天からの授かりものとして否定せずに受け入れるという、天草の優しさの原点ともいえることば。「やさしい嘘」をはじめ、おとぎ話のような一瞬の時間 - 天草から「のさり」の風が、あなたの心を包み込む、やさしいひと時を届けます。

竹の子掘り&手作り弁当

東陽グリーンツーリズム協会

4月16日、黒瀬河川自然公園の竹林で、竹の子掘りの体験イベントが開催された。東陽グリーンツーリズム協会の主催。

参加者約30人は、木漏れ日の中、収穫した竹の子を袋一杯に詰めて自然と触れ合った。

収穫後は、坂より上地区公民館へ移動。竹の子調理研修や食の名人塚ミネ子さんの手作り弁当に舌鼓を打ち、東陽町の春を満喫した。



竹の子掘りを楽しむ参加者

【写真提供:東陽支所さま】



日時:6月4日(日)9:30~15:30

場所:泉運動広場

おもなプログラム

(午前)郷土芸能披露、県警音楽隊・地元バンドの演奏

(午後)もっこすファイヤー・安井政史お笑いステージ、くまモン、英太郎ものまねショー、お楽しみ抽選会

問合せ先:平家いずみお茶まつり実行委員会(67-2111)

令和5年6月17日(土) 10:00~16:00

電話相談 096-364-0800 (当日のみの専用番号です。)

面談相談 ※ご予約優先となります。予約締切 6/16(金)12:00まで 関係での相談を希望される方は、ご予約のうえ、下記会場に連絡ください。

市民会館3階アースホームホール2階 新7会議室 住所:熊本市中央区桜町1番3号

会議室2 宇城市不知火消防拠点センター 研修室1・2 住所:宇城市不知火町高良223番地1

ご予約・お問い合わせ 096-288-2151 (司法書士 松岡 正吾)

相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務

など、お気軽にご相談ください。

司法書士法人 川口事務所

司法書士 川口邦則 (熊本県司法書士会会員)

住所 氷川町今143-1 電話 62-1770

メール info@kawaguchi-office.org

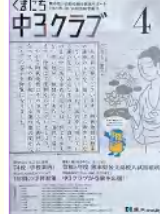


事務所移転しました!

★高校受験の強〜い味方

熊日では、中3クラブを毎月発行しており、私立高校の入試問題、県立高校の入試予想問題のほか、進学のアドバイスなど盛りだくさん。

ご希望の方は、熊日宮原販売センター(62-3868)へお申込み下さい。弊店に冊子が到着後、各ご家庭へお届けいたします。





ファーストペンギンになる(46) 龍谷大&京産大でゼミ生の活動を学ぶ♪ ～第8回県外研修レポート♪その1～



写真左:パワーポイントで研修の概要説明を行う3期生、写真右:5期生のスピーチ

5月7日、氷川町まちづくり情報銀行において、第8回県外研修(3/27～29)の報告会を行い、保護者ら18名が参加した。

本研修は、東日本大震災の取材からスタートし、4回目からは大学入試改革を視野に入れて関西の大学を訪問。今回は、まちな課題解決・探究コース3期生2名と5期生4名が、龍谷大学政策学部の新里ゼミ・井上ゼミ、京都産業大学現代社会学部の滋野ゼミと交流した。

大学では子どもたちの活動紹介後、ゼミ生

たちが京都府内での地域活性化の取り組みを紹介し、意見交換を行った。ゼミ生の活動は子どもたちにとって刺激的で、今後の活動に大いに参考になったようだ。

研修後は、一番印象に残っている事例についてそれぞれが600～800字で作文を作成。報告会では、表現力を高めるために原稿無しで1人2～3分で話し、保護者からも好評であった。

なお、ミニコミ紙では次号でその内容を紹介する予定である。



写真左:龍谷大での活動発表、写真中:先生たちとの懇親会、写真右:京産大での交流

◆感動を覚えた多様なスピーチ

8月に県外研修に行く!と決まってから、待ち遠しく楽しみにしていた娘。どんな旅になるのかな?大学では社会勉強をさせていただけのかな?これが良い刺激になればいいなあ、なんて軽い気持ちでした。

また、道中、騒いで迷惑をかけていないだろうか?先輩方を手こずらせていないだろうか?と思っていると、途中途中でおっちゃん(岩本さん)からのラインや写真に少し安堵しました。

しかし、大学での発表は緊張して上手でできずに後悔しているのでは?先生方との懇親

会で、失礼な事はしていないだろうか?など、不安要素しかありませんでした。

さて、本日の子どもたちの発表にそんな不安は吹き飛び、感動して涙が止まりませんでした。商品開発や地産地消を目指したジビエカレーに関する5期生4人の受け止め方、違う角度からの発表に、まだまだ子どもだと思っていた彼女たちの成長を感じました。

今回、貴重な体験をさせていただいたおっちゃんや3期生、また、たくさんの時間を費やして受け入れてくださった大学関係者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

【5期生の母より】

舞先輩、お帰りなさい&はじめまして、桃子です♪ ～アメリカへの留学、メキシコ暮らしに興味津々～

4月14日、メキシコから帰省された高橋舞さん(氷川町下宮出身)とおっちゃんの食事会に参加した。舞さんは、小3から旧宮原町のまちづくり情報銀行に出入りし、全国から訪れる大学生や社会人と交流。帰国して早々、高校時代にホームステイした小布施町にも足を伸ばし、20年ぶりに関谷啓次さんと再会されたそうだ。

私が子ども記者クラブに入会したのも小3で、スタートや小布施町との交流など活動が似ていることに運命を感じた。高校卒業後は、アメリカの大学へ留学。現在は、メキシコ人と結婚されて1児の母である。

小学生の頃から海外に興味があり、中2の時に自らの希望でお母様とタイへ行ったこともあったそうだ。日本で生きづらさを感じていたのかもしれない、とおっしゃっていた。海外の中でも特に途上国に興味があり、働きたかったと聞き、私と同じ夢で驚いたのと同時に、行動力がすごいなと思った。

また、高3だった2005年に第一法規より出

版された「まちづくりの伝道師達～宮原発!小学生から始まるまちづくり」(宮原好きネット編)に執筆された文章を読むと、宮原が大好きであることが凄く伝わってきた♪

メキシコの国民性や文化、コロナの状況なども聞いて、あっという間に3時間が過ぎた。実際に海外に住んで人と話をするのは楽しく、私の途上国に行きたいという思いが、さらに強くなった。

【熊本高専4年:堀川桃子】



高橋舞さんのお話は、とても刺激的♪

【彩の国から～人と地球のための新・幸福論③】

「虫、触れますか?」
～鈴嶋克太(子ども記者08)～

突然ですが、あなたは虫を素手で触れますか?

◆子どものころは、みんな虫好き

僕自身はというと、小学生の頃は虫好きだった。カエルでもバッタでもコオロギでも、手で捕まえていた記憶がある。毎年、雨の季節になると、カエルやナメクジが家の中に入って来るものだから、見つける度に手でつまんで外に出していた。

ところが、中学・高校の頃以降、虫嫌いになっていった記憶がある。家の中で虫を見つければ完全に腰が抜けてしまい、外へ逃がす作業は人任せにするか、あるいは、なるだけ手に触れないように工夫していた。

ゴキブリを見かけても、全く正面から立ち向かえず、退治にかなりの勇気と時間があるようになっていた。外で遊ばなくなったのが、虫嫌いの一つの原因だろう。

◆また、虫を触れるように

いま住んでいる所は田園地帯で、近くに雑木林がある。アパートの前には、無農薬無化学肥料で作っている畑がある。当然ながら、虫がウジャウジャいる。これからの季節、特に7～9月は、玄関前のポーチライトにシャワーのように虫が集まって来る。

また、カブトムシ・クワガタムシの類もものすごい勢いで飛びまわり始めるので、ぶつかると痛い。夜に帰宅する時などは、意を



年を取って、大きく成りすぎたブロッコリーの葉。これでもか!と虫に食われている。

決して息を止めて、立ち止まらないように一気に駆け抜け、玄関を開ける。

また、畑の野菜を頂く時なども、行き交う虫たちを払いのけながら収穫することになる。虫に触るといふより、虫の方からこっちの手足にぶつかって来る。昨年来こういう環境で過ごしてきたものだから、最近、また虫に触れるようになってきた。

◆僕らの命は、虫様のお陰!

虫がたくさんいるのは、「緑が豊か」「農業の影響が少ない」など、環境が良好であることの証だ。それだけでなく、虫たちもこの地上の物質循環を助け、環境をより良くしてくれているらしい。こんな話を聞いたことがある。

人間が生野菜のサラダをバリバリ食べられるのは、胃液のお陰でちゃんと栄養を吸収できるから。一方、葉虫にその能力はないので、傷み始めた野菜、元気がない(栄養が無い)葉っぱだけを食べて、分解してくれる。出てきた糞が、土の栄養になる。

確かに畑を眺めると、虫食いだらけの野菜は、生育条件が悪く色が黄色かったり、季節を過ぎて痛み始めているものが多い。虫のお陰で、命の循環が促進されているのだ。虫さん、いや虫様!あがとうございます!



簡状の新聞紙に
ガムテープを
巻いてつまめます

アイダホ州にて、新生活⑧

春の訪れ、そして帰国間近♪

～横道主恵(氷川町早尾出身)～



来月帰国予定であり、ポイシ生活もラストパートとなっています。

ポイシでは4月中旬ようやく雪が降らなくなり、長かった冬の終わりを感ずるようになりました。

同時に、街路樹も一気に花を咲かせ始め、桜のピンクの花とマメナシと呼ばれる木の白い花が綺麗に咲き誇っていました。ただマメナシの花は、ほのかに海老の腐ったような匂いを発する花で…。どうもその匂いだけは好きになれず、遠目に見ながら春を告げる花々を楽しみました。

さて桜とマメナシの花が咲く中、日本では聞き慣れないイベントが幾つかありました。その中の一つが、5月5日のシンコ・デ・マヨという日です。これは1862年にメキシ

コ軍がフランス軍に勝利した日として知られており、今ではメキシコの文化を楽しむ日として定着しています。

スーパーにはトルティーヤやピニャータ等のメキシカングッズが並び、私の住むアパートでもシンコ・デ・マヨパーティが開かれ、アパートの住人の方々と一緒にタコスとテキーラを楽しみました。

さて、岩本さんのお誘いで始めた寄稿も、今回が最後となりました。アメリカ生活の様子をとりとめもなく記しておりましたが、楽しんで読んでいただけていたら嬉しいです。

帰国後、広島での生活が落ち着いたら、氷川に帰郷したいと思います。短い期間でしたが、ありがとうございました。



(左)マメナシの花の匂いは苦手、(右)アパートでのタコスパーティーの様子@長女さん♪

木造解体業

(有)もみのき

氷川町宮原1440-1

Tel 62-4681 携帯090-3669-8000



売地・売家を募集しています。
価格査定は、無料です。
氷川町宮原566-2
アシスト氷川 代表 江崎 悟
TEL 090-9797-2312

売地 (西上宮・国道3号筋)	売家(工場付)
80坪(宅地)	土地239坪・家屋33坪・工場53坪
750万円	1000万円
宮原小氷川中学校区・上下水道・有佐駅5分・仲介	国道443号筋 宮原小・氷川中学校区・上下水道・有佐駅5分・仲介